

経営危機から**2年**で再建

Vリーグ異例！**2000人**の観客動員
スポーツビジネスの新モデル確立！

北海道イエロースターズ

札幌で迎えるホーム最終戦で3連覇に王手！

V.LEAGUE MEN 東地区に所属する北海道イエロースターズ(株式会社北海道イエロースターズ、札幌市東区、代表取締役会長 武田幹郎、代表取締役社長 澤野 佑介)は、東地区首位で2026年3月22日(日)にシーズン最後のホームゲームを迎えます。かつては1試合約500人規模だった観客数を、わずか2シーズンで4倍の約2000人まで増員し、リーグ異例の人気を集めています。チーム存続の経営危機からわずか2年。北海道イエロースターズは、観客動員と競技成績の両面で急成長を遂げ、東地区3連覇に挑みます。



観客動員4倍、急成長を支えた成長発展型M&Aのクラブ改革

チームの再建と急成長の背景には2024年にクラブ経営に参画した武ダGEAD株式会社(本社：札幌市白石区、代表取締役社長兼CEO：武田幹郎)の存在があります。同社は、成長発展型M&Aを通じて地域企業をグループ化し、事業を拡大してきた北海道発の企業です。クラブ経営参画後は、経営体制の強化と競技力向上に向けた投資を進めるとともに、選手補強やチーム体制の整備を実施してきました。その結果、北海道イエロースターズは現在V.LEAGUE MEN東地区首位を走るまでに急成長。また、音響や照明などアリーナ演出の強化による観戦体験の向上やSNSを中心とした情報発信の強化を通じて、ファン層を拡大。ホームゲームの観客数は、わずか2年で約500人規模から2000人規模へと増加しました。戦略的な成長発展型M&Aにより、観客動員と競技成績の両面で急成長クラブとして注目を集めています。





企業と都市が連動するスポーツプロジェクト

武ダGEAD株式会社は、札幌市と笑顔になれる街づくりを進めることを目的とした連携協定を締結しています。本協定は、北海道イエロースターズの活動などを通じて、スポーツを活用した地域活性化をはじめ、子どもたちの健やかな心身の育成、札幌市の魅力向上とその発信、SDGsの視点を踏まえたまちづくりの推進など、幅広い分野で相互に連携・協力していくものです。こうした取り組みを通じて、スポーツが持つ力を地域の元気やにぎわいの創出につなげるとともに、札幌のまちに新たな価値や交流を生み出していく活動をしています。

ホーム最終戦(埼玉アザレア戦)開催概要

日 程： 2026年3月22日(日) 14:00～

会 場： 北ガスアリーナ札幌46(北海道札幌市中央区北4条東6丁目)

【取材・撮影いただけること】

- ホーム最終戦の様子
- クラブ再建やスポーツビジネスの取り組みに関するクラブ関係者インタビュー(別日対応)
- 武田幹郎単独インタビュー(別日対応)

地域とともに戦う、北海道イエロースターズ最終戦

北海道イエロースターズは、SVリーグ昇格と、地域に根ざした愛されるチームづくりを目指し、日々挑戦を続けています。私たちはチームの全員が心をひとつにし、全力で戦う姿を通じて、子どもたちや地域の皆さまに勇気と希望を届けたいと考えており、その積み重ねが、北海道から全国へと光を放つ“希望の星”になる道だと信じています。ホームゲーム最終戦では、選手たちがこれまで以上に熱く、誇りを胸に戦います。ぜひ会場にお越しいただき、皆さまの声援でチームを後押ししていただければ幸いです。

株式会社北海道イエロースターズ 代表取締役会長
武ダGEAD株式会社 創業者 代表取締役社長兼CEO

武田 幹郎

取材のお申し込み・お問い合わせ先

武ダGEAD株式会社 担当：山田(080-1165-8563)

〒003-0012

札幌市白石区中央2条1丁目6番15号武田ビル